

社会保険適用管理と助成金受給を同時に達成

社会保険料節約と 就業規則 おまかせパック

法令遵守のもとで社会保険料を見直す 社保料節約サポートコース



給与の支払い方と標準報酬月額を見直すと・・・

※保険料節約提案のみのスポットコースとなります。

その1 現状の標準報酬は適切か？

1年間の社会保険料の基準となる
4月・5月・6月給与の平均は、年間の
ほぼ平均値を示しているでしょうか？
標準報酬が高止まり決定してませんか？



その2 法令遵守の中で見直すには

違法なこと、合法的でないことは一切いたしません。それでも、小さな
改善をすることで、そこそこの保険料節約になることがあります。

その3 標準報酬の設定には幅があります

ほんの少しの違いで、1等級上の標準報酬に
決定されることがあります。支給基準の見直
しをすることで、標準報酬に差が生じ、保険
料節約につながることもあります。



お申し込み方法は最終ページにあります **Go!**

社会保険料の基準は？

社会保険の保険料の算定に当たっては、事務処理を簡単にするために、
あらかじめ一定の幅（等級）で区切った仮の報酬としての標準報酬月額
を設定し、これに保険料率を乗じて得た額を保険料として徴収する仕組
みになっています。今回は、この標準報酬月額に関し、注目し、社会保
険法にそった基準の中で、保険料節約になる方法をご提案します。



**3ヶ月のじっくりサポートで、キッチリ制度作り。
さらに助成金もいたします。**

※お申込より3ヶ月の有期コースとなります。

その1 社員様に無理のない基準変更

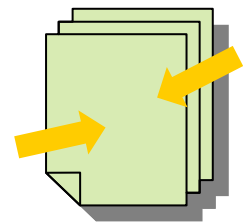
給与・賞与の支払い基準や支払い時期などの変更を行う場合がありますが、社員様に無理のない基準で仕組みづくりをサポートします。

貴社に最も適した基準を社員様と一緒に作るため研修なども行います。研修および説明会は原則1ヶ月に1度、合計3回を行います。



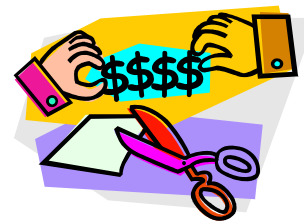
その2 等級制と比例制の社保料決定

社会保険料は報酬(等級制)と賞与(比例制)で異なるため、対象となる支給額の割合を変化させることで節減効果が発生することがあります。



その3 同じ等級内でも数万の幅があります

例えば26万円の標準報酬は・・・
250000円～269999円までとなります。
言い換えれば、一定の報酬範囲は同一の保険料となります。そこで、報酬額を26999円に近づけると低率ということもできます



お申し込み方法は最終ページにあります [Go!](#)

お申込特典



少しずつでも社会保険料を節約する規定により、無理のない運営をすすめましょう！

今なら「助成金診断」お付けします。

すべてのコースお申込について、雇用保険事業より支給される助成金に、貴社が該当するかどうかの無料診断をさせていただきます。雇入れや制度改正、社員教育に関連する助成金を無理なく導入するためには、専門家のコンサルティングをもとに進めてください。

松崎社会保険労務士事務所 シンプル料金プラン



制度も料金も、わかりやすくしました

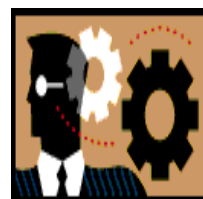
料金表

コース名	料金※税別	内容
社保料節約サポートコース	50人未満 20万 100人未満 30万 150人未満 40万	2回訪問ミーティング・メール相談／提案書作成／節約見積もり額／助成金診断
社保料&就業規則 じっくり作成コース	450,000円 390,000円 サンキュー価格	3ヶ月じっくり支援／労務関係の訪問メール相談／規定作成／助成金診断
顧問契約	別途相談	上記のほか、労働社会保険手続業務・労使トラブル対応、助成金申請割引など

社会保険料節約できるかなプランの就業規則の特徴

その1 報酬幅のできるだけ右によせてもたせる

毎月の給与は等級制度により社会保険料が控除され、賞与は支給額に保険料率を乗じて求めます。また、総報酬制度により、1年間の給与と賞与の合計額で決定されます。この際、毎月の給与にかかる保険料は等級制度であるため、実質保険料率が社員ごとに異なりますが、報酬幅の右側によるほど低率ともいえます。



その2 標準報酬1等級違えば。。。いくら保険料差額？

例 標準報酬 30万円するとき 報酬 29万以上31万未満 ですから
30万9999円までにすることができれば、いいですね。

標準報酬が30万と32万では、 $2万 \times \text{保険料率}$ の保険料額が違うのですから
 $2万 \times (100.0 + 174.74) / 1000 = 5,494$ 円の違いです。

2万ごとに、費用順報酬月額が定められているのは20万～38万13等級～22等級であり ほとんどの社員の標準報酬はこの間に入るとしてもし、50人の標準報酬を1等級上がってしまわないよう給与の支給基準を変えることなどで、調整できたとすれば $5,494円 \times 50人 = 274,700円$ 1年でいえば、329万6400円の節約と言えます。

助成金&就業規則おまかせパック お申し込みについて



このページはお申し込み用FAX用紙です

お申込FAX

(093)981-0144 まで

【 お申し込みサービス 】 ご希望のサービスに「○」をつけてください

チェック	サービス名
	社保料節約サポートコース（社会保険加入人数により20万～）
	社会保険料&就業規則じっくり作成コース 390,000円
	顧問契約 別途相談
	その他ご質問

【 お客様情報 】

郵便番号	〒	—	電話番号	
住所				
法人フリガナ				
法人名				
代表フリガナ				
代表者名				